

令和 6年度

## 自己評価結果及び運営推進会議評価結果

### 【事業所概要】

事業所番号	2294201054		
法人名	有限会社 生陽会		
事業所名	にこやかハウス小鹿		
所在地	静岡県静岡市駿河区小鹿321 - 1		
自己評価作成日	令和7年1月23日	市町村評価結果受理日	
公表リンク先	<a href="https://www.ikiyo.co.jp">https://www.ikiyo.co.jp</a>		

### 【事業所が特に力を入れている点】

認知症を維持、改善するため午前中から午後まで身体リハビリ、脳活性化リハビリをしている。水分を1日1500cc以上摂っていただくこと、栄養1500kcal、排便を毎日～3日に1度、有酸素運動の取り組みをしている。その方の症状や状態に合わせてリハビリメニューを考えて行っている。

### 運営推進会議 開催日

令和6年 5月23日

令和6年 7月18日

令和6年 9月26日

令和6年 11月21日

令和7年 1月23日

令和7年 3月13日（予定）



## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

令和年6度

にこやかハウス小鹿

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎朝の申し送りで会社理念、入浴編の歌、ユニット目標を唱和している。全職員が目標に達成できるよう努めている。夕方には目標の振り返りを行い翌日いつなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	町内の川掃除は参加し交流を図った。また、日頃の散歩はしているので近隣の方との挨拶はできている。	小鹿まつりへの参加、地域の防災訓練への参加 日頃の散歩や清掃業務を行った		小鹿の地域との交流も含めお祭りへの参加が出来た、地域防災訓練に参加できた。さわやかサロンに参加した。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	3月から開催している。事故報告やヒヤリハット、取り組みの状況は報告しているが、今後は取り組みなどの見学もできればと考えている。	専門職に限らず幅広い立場の人に参加を促すことはどうか。外部からの意見を知ることができるのではないかと。気軽に見学ができるようにしていけばどうか。災害が多くなっているため連絡方法検討。		ご家族の参加を積極的にお声掛けし増やしていけた。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	連絡を密にとっていないことが現状ではあるため、今後は積極的に動いていきたいと思っている。	報告内容を具体的に決めまとめる、それを定期的に連絡する体制を整えてみてはどうか。		出来ているのではないのでしょうか。とご意見あった。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	夜間は玄関の施錠をしていますがそれ以外はしていない。身体拘束の研修も行っている。特にスピーチロックなどに関しても日頃から意識している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待が起こらないように研修は行っている。日々、注意しあえる状況を作っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	研修で取り組んではいるものの、活用にはいたるまではできていないのが現実である。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様とは入居前から細やかに連絡を取っている。不安や要望にはしっかり応えられるようにしている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の電話連絡や LINE でのビデオ電話面会時、運営推進会議、定期的な連絡時にお話をお伺いしたりしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に家族にはご連絡し、アンケートや電話でのご意見を伺っている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2週間に1回のリーダー会議、月に1回のユニット会議で意見を出し合っている。紙ベースからタブレット打ち込みに変更し業務をスムーズにできるようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回、個人人事評価制度が導入されている。評価後のフィードバック面談や随時の相談を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	随時に面談に関しても計画を立て働きやすい現場にしてい。本部面談もある
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内研修は行っているが社内研修は前年度は行っていない。外部研修参加の申し込みは受け付けている。新人職員には新人研修は行っている。		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オンライン研修実施している。職員ミーティングの再開を検討。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ④ほとんどできていない	前年度は交流する機会に参加ができなかった。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中で、介護してあげるという考えだけを持つのではなく、共に支えあい、喜怒哀楽を共感、分かち合える関係づくりを心掛けている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会は実施している。家族、兄弟や友達と交流を図ることはできていないが、テレビ電話での面会や窓越し面会、携帯電話を持っている方は家族、友人と自由に電話でお話している時間を作られてはいる。	感染予防しながらの面会、外出を増やす。以前にお住まいだった馴染みの場所をドライブやお散歩兼ねまわってみるのはいかがでしょうか。家族の写真、昔の写真、なじみの風景写真をお部屋に飾ってあげるのはいかがでしょうか。		面会に関しては中止としておらず行っている。外出に関しても行っている。

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の趣味やご意向をなるべく聞き取り入れている。本人の意思確認が難しい場合はご家族にも協力をしていただいている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中からご本人が何を望んでいるか、よりよい生活を送ることができるようカンファレンスの中で職員と話し合い本人の言葉を活用しプランを作成している。1か月に1度モニタリングもしている。	入居前の生活や以前の趣味を家族からヒアリングするのはどうか。 個別に熱心に取り組んでいると思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の生活や趣味などは入居前にお伺いしているため把握しながらも今現在本人が望んでいることを細やかに見つけていく。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人記録は記録し、毎日の申し送りでも全職員で共有している。 気が付いたことはリーダーに提案し、その後のカンファレンスで話し合い見直しもしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子などの細かい部分についても記録していきカンファレンスでの見直しも継続できるようにしていく。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の施設での取り組みはもちろんではあるが、一人一人のご希望やその時々状況に合わせて、居心地よく過ごせるよう柔軟に対応している。	マッサージや美容院等を利用して、入居者が必要なサービスを受けられるようになっている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少し距離のある場所への散歩はできているが外出レクはできていない。時々食事のテイクアウトをして本人が楽しみに出来るものを取り入れたりはしている。	引き続き感染予防はしながらも 人混みを避け買い物を楽しむのもよいのではないかと。		ボランティアを受け入れている。レクリエーションを積極的に行うことを検討
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2週間に1度、協力医の往診がある。24時間の連絡体制は摂れている。またご家族希望で受診に行かれている方もいる。専門医の受診が必要な時は主治医の指示や紹介の下、受診に行く方もいる。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には必要な情報を提供している。入院後は早期の退院に向けて相談員と連携を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院した場合、早期にお戻りになれるよう、またはご本人の状態の把握について関係者との話し合いは早めに進めていけるよう今後もしていく。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療処置を必要としないターミナルケアについては受け入れを行っている。段階を踏んで変化があるたびにご本人、ご家族、医師、看護師、職員とともに意識の確認と共有を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のご様子とともに、職員間での情報共有、ご家族への連絡は密にとっている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時のマニュアルは作成されており、研修にも取り組んでいる。また実際に起きた場合には落ち着いて行動できるよういつでも連絡が取れるようにしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地震や災害を想定した訓練を行っている。消防署職員の立ち合いもお願いしており訓練や訓練後の評価もしてもらっている。	被災時に施設が孤立しないよう、複数の情報共有先とも普段から訓練も共有していればよいのではないか。ご家族との連絡方法を早急に検討。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本年度は3月9月11月と計画を立て訓練をした、また夜間の想定で実際に夜勤者一人の時に起きた形での訓練も検討している。12月は小鹿地域の防災訓練に参加した。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシー、プライド等に配慮したその方の状態に合わせた言葉遣いや対応をしている。カンファレンスでも日頃の言葉遣いについても話し合っている。入浴や排泄の手伝いなども同性介助で対応している方もいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の基本的なスケジュールに沿った取り組みをしながらも、個々のその日の状態に合わせ柔軟に対応はしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時々、個人の好みも入れながら楽しみになるようにしている。また食事前のテーブル拭きなどの準備もして下さる方がおり、食後の食器拭き等も自前のエプロンをしてやって下さる方もいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様とミニトマトなどの栽培をし収穫した。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝食と夕食に関しては調理員による家庭的でカロリー計算された料理を提供している。昼食はおかずのみお弁当を提供、水分に関しても1日の水分量をその方に応じて提供している			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、その方に合った口腔ケアのお手伝いをしている。なるべく自立を促してできないところはお手伝いしている。訪問歯科医に来ていただいて治療している方もいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問歯科も利用しながら日常での口腔ケアはきちっと行うようにしている。 歯ブラシなども清潔を保てるよう心掛けている
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレで排泄をするということを大切にしている。ご自分でできない方は定時誘導しており、またその方に合った布パンツ、リハビリパンツ、パットなどは使用している。なるべく下剤に頼らず水分や運動メインに取り組みはしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴の拒否がある方はタイミングや声の掛け方、人を変えたりしている。同性介助の方もいる。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	元々の生活習慣も大事にし対応している。夜間は睡眠がしっかりとれるよう日中しっかり活動していただき夕方からはクールダウンの時間を作っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各階に薬のファイルは置き職員が把握できるように努めている。往診時に薬が変更になったりした場合には薬剤師とも相談し、申し送りをしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の薬の増減もあるためその度、把握ができるように継続する
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気分転換を兼ね散歩に出たりしている。また花を育てたりしている方、ハーモニカが趣味の方、パン食の方、それぞれの趣味嗜好に合わせて対応している。お買い物には行くことができないが得意なことを見つけ家事活動をしてくださる方もいる。	・役割、趣味についてはしっかりできている ・地域の趣味の会などの人達に参加してもらいながら作品作りをしたり、パザーなどしたりと考えていければどうか。		役割、趣味嗜好については今まで通り継続していく。また作品作りなどは少しずつ取り組めればと持っている。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩だけはなるべく行くようにしている。季節を感じてもらおうことが大切にしている。買い物や、出かけることができていない。	・社内から風景を楽しめる場所へのドライブを試みるのはいかがでしょうか。		外出や、ドライブ、楽しく過ごせるようなレクを計画する。

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自身でお財布を持ち少額を管理されている方もいる。他は施設で管理しており、買い物時には所持して使えるようにはしているが現在はできていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、職員がご家族あてに手紙を書いているが、入居者の中で書ける方には家族に手紙を書いていただいている。携帯電話を持っている方は自分で電話をかけお話ししている方もいる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	温度や湿度に気を配っている。また毎日の清掃と消毒は心掛けている。季節を感じられるように月ごとに皆で手作りの季節の飾りを作り飾っている。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
<b>IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべく本人の意見を聞き入れ居心地よく過ごせるようにしているが、ご本人の気持ちを確認できない方もいる。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべくご本人が過ごした環境に近い形でお部屋を家族の協力の下支援している。また B2B3 を事前に記入していただきそのことに基づいて支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診医や看護師と医療面では相談しながら支援している。必要であれば受診に行っていたい		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分のこれまでの暮らしや習慣に合った生活ができている方もいる。帰りたい方もいる中で、職員は居心地良い環境づくりには努めている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分が使用していた物を持ってこられている。テレビや冷蔵庫、仏壇なども置いている方もいる。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族と外出されている方はほとんどできていない。 予防しながら楽しめたり出かけるということは今後は少しずつやっていきたい	殆どできていないが、季節の行事は大事なので初詣は1対1(入居者様、職員)で近くに神社に散歩しながら出かけた。		新年の行事などは高齢者にとっては大事なことに感じているため、継続したい。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お一人お一人にできる役割は持っていたらいい。洗濯を畳む、干す、テーブルを拭く、カーテンの開け閉め、お盆拭き、食器拭き等。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の中で会話をしている時間を必ず作っている		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	お散歩で挨拶をしたり会話をすることはできているが、外に出れない方もいたりするため交流ができる方は決まった方が多くなっている。	散歩で外出した時に景色動画を撮り、それを見てもらうなどしては。		散歩時に挨拶はできている。景色を見てもらうなどはやっていきたい。可能な範囲で外に出て空気の入れ替えや景色の入れ替えも提供していく。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるできている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段から一つの物事に対して拒否される方はいるが総合的に見てみるとよりよい日々を過ごせるようになっていっていると思う。	より良い日々のためにできることを職員が学ぶ機会を作ったらどうか。また安心している方も多と感じているのでそのままよりよい日々を職員の方は演出することも仕事の一環として素晴らしいのではないかなと思う。	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族会を開催し、職員、ご家族様同士の親睦を行った。日頃の取り組みはスライドショーで見ていただいた。

## 目標達成計画

事業所名 にこやかハウス小鹿

作成日: 令和 7 年 3月27 日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	外出、地域交流が出来ていない	季節の外出、地域交流を含めたサロンへの参加	・計画を立てる 車椅子の方も含めた計画を立てる ご家族様へも参加を促す	12か月
2	24	服薬、転倒など、事故の原因をカンファレンスで立てているものの現状として減っていないこと	原因をしっかりと確認し対策をたて、事故を減らしていく	全体でのカンファレンスで原因と対策を話し合い職員で共有していく	6か月
3					
4					
5					